

教組米沢

2020 年度 第 18 号
10 月 5 日発行

米沢市教職員組合

米沢市門東町 2-3-27
米沢教育と文化の会館
TEL (0238) 23-1542
FAX (0238) 23-1560
https://yonezawa-tu.jp/
Mail : ytuandztu@lemon.plala.or.jp

安倍政権の負の遺産の清算を

—— 教育と平和を壊した安倍政権の 10 年 ——

安倍政権がついに終わりました。教員免許更新制、全国学力テスト、人事評価、変形労働時間制など、学校に残した負の遺産を一刻も早く清算しなければなりません。

持病のせいにしていきますが、コロナ対応で批判を浴び、二か月以上も会見を開かず、追い込まれた末の退陣であることは誰の目にも明らかです。

第一次も含めれば十年近い安倍政権は、教育にとって戦後最悪の政権でした。教育基本法改悪をはじめ

教員免許更新制、全国学力テスト、給与・諸手当と退職金の大幅削減、人事評価、変形労働時間制、コロナ一斉休校と、いま教職員を苦しめている諸政策は安倍政権によるものです。これらがなかったら、学校は全く違う形になっていました。平和と人権に対する姿勢もひどい。国連の核兵器禁止条約には被爆国でありながら反対を貫き、沖縄には弾圧のような米軍基地の押

し付け、そして世界中どこでも自衛隊が戦闘に参加できる安保法制の成立など、枚挙に暇がありません。この安倍政権を丸ごと繼承するという菅政権は、安保法制などに反対した学者を学術会議に任命しないなど、安倍以上の独裁色をさっそく見せていきます。

安倍政権がこわした教育と平和	
2006	教育基本法改悪
2007	教育三法改悪 ・教員免許更新制 ・指導力不足教員 ・教員の階層化（主幹教諭）
	全国学力テスト 共済年金を厚生年金に一元化
2013	退職金平均 400 万円削減 特定秘密保護法成立
2014	人事評価制度
2015	安保法制（戦争法）成立
2016	中堅教員研修など管制研修強化
2017	共謀罪成立 核兵器禁止条約に反対
	道徳の教科化 退職金平均 80 万円削減
2019	変形労働時間制

教職員の人手不足はなぜか

s スクサポ・支援員

コロナの補正予算で配置されることになったスクールサポートスタッフや学習支援員ですが、なかなか人が見つからず、退職教職員も総動員されています。なぜここまで不足なのでしょう。

数年前から、産育休代、病代などが見つかからない、ということが起きていました。学校はブラックな職場ということが世に広まり、教員採用試験応募者が激減し、今年、山形県の小学校の倍率は一・六倍にまで下がりました。

学生数の減少に合わせた教育学部定員の大幅減、教員免許を取得しないで卒業できる制度（ゼロ免課程）、教員免許更新制で更新しないまま失効した人の増加などにより、そもそも教員免許保有者が減っています。今後退職教職員も減少していくので、退職者の雇用はその場しのぎに過ぎません。

政府内には、免許更新をせず失効した人に臨時免許を与えて現場に戻す、という案が浮上していますが、そんなことだったら教員免許更新制を即刻廃止すべきです。

類想類句

菅首相について、秋田の田舎から出てきた苦勞人、というようなイメージでテレビ・新聞は大騒ぎでした。

彼のこれまでの政治経歴、安倍政権の中で果たした役割を冷静に分析し批判するような報道は、ほとんど目にする事ができませんでした。

その中で、首相指名翌日の日刊スポーツ紙は、一面に大きく「アベノママデス」の大見出し。今や大新聞よりも、週刊誌やスポーツ紙の方が的を得た報道をしています。

* * *

大手新聞社と政治との癒着は、読売新聞会長が政界フイクサーとして有名です。新聞社はさすがに直接の政治献金はできないので、「日本新聞販売協会」が自民党に多額の政治献金をしていることが明らかになっています。学校への新聞購読の押し付け、軽減税率などがその見返りです。おかげで学校は、窓ふきの新聞紙だけは豊富になりました。

（書記長）

秋の連続学習会のご案内

地域教材づくりに役立つ
フィールドワーク
10月10日(土)
9:00 すこやかセンター南駐車場集合
(13:00 終了予定)
講師：佐藤 詠一 先生(窪田小)

クラスが盛り上がる
集団ゲーム
10月16日(金) 18:30~20:00
置賜総合文化センター 203
講師：福岡 修三さん(学童保育指導員)



こんなところを巡ります!

- 開運稲荷神社付近
(三の丸掘割跡、明治の料亭跡、高低差)
- 佐氏泉公園付近
(鉄道敷設と町づくり、ガード、殉職慰霊碑)



楽しくわかる
算数ゲーム
10月23日(金) 18:00~20:00
アクティ米沢 2F 研修室
講師：早坂 久佳 先生(数教協)

- 小学校全学年で取り組める
加減乗除のゲーム
- 面積の導入ゲーム など

参加申込は、各学校の分会長、または書記局にメールで
申し込んでください。
(書記局メール：ytuandztu@lemon.plala.or.jp)

連載「働き方の総点検」

⑥ 公開研・研修 - 2



来年、あの密な公開研を
本当にするのがしら?

	研究指定なし	半日の授業研	1日の公開研
2019年	中山町、西川町 金山町、舟形町 真室川町、大蔵村 鮭川村、戸沢村	山形市、上山市、天童市、山辺町、寒河江市、河北町 朝日町、大江町、村山市、東根市、尾花沢市、大石田町 新庄市、最上町、長井市、小国町、南陽市、高島町 川西町、白鷹町、飯豊町、鶴岡市、庄内町、三川町 酒田市、遊佐町	米沢市だけ

かつては各市町村だけでなく、県教委や教育事務所も研究指定を行い、公開研や学校訪問が華々しく行われていました。県教委による研究指定校では、学校に「県教委研究指定校」の大看板を一年中誇らしげに掲げていました。北村山では年に1回「教育事務所長訪問」があり、所長様のために分厚い資料や指導案を準備してお迎えし、一日接待していました。

米沢市でも公開研当日は、各校長が酒瓶を「お祝い」としてぶら下げて参加したり、昼休みには保護者を動員した味噌汁のふるまい、地元の人々の踊りなど、地域を巻き込んだ大イベントでした。

こうした教育の場に似つかわしくないイベントを変えようと、山教組は結成以来、少人数学級実現とともに大きな運動の柱としてきました。

1996年12月、山教組による県教委交渉で当時の伊藤明生義務教育課長は次のように回答しました。

「県教委は指定研究をやめて、学校が主体的に行う研究に変えた。これは『金は出すが口は出さない』ということで好評である。こういうやり方を市町村も県教委に見習ってほしい」

「従来行ってきた『研究指定』という古い方式は改め、今後は、今の子どもたちの課題に合わせた創意ある研究を支援する、という方向に市町村教委を指導する」

この後、各市町村でも研究指定・公開研の改善が進み、公開研がないか、あっても半日の公開になりました。一貫して一日公開を行っているのは、いまや米沢市だけです。